

今号の主な記事

2・3面 特集「あの日のことを忘れない～気仙沼からの思い」

4面 子ども医療証の送付、エコ・チャレンジ顕彰、お花見自粛のお願い、情報ボックス、休日などの診療・調剤案内ほか

No.2097

令和3年
(2021年) 3/15

毎月5・15・25日発行

目黒区
ホームページ

めぐる区報

人口と世帯

住民記録者数…… 280,684人
(うち外国人数…… 9,141人)

男…………… 132,649人
女…………… 148,035人

世帯数…………… 157,965世帯

3.3.1現在の住民記録による



強く

生きられなかった人の分まで、

生きたくても

特集 東日本大震災から10年

あの日のことを忘れない

～気仙沼からの思い



小山 里子（19歳）

東日本大震災から、10年。

震災当時、気仙沼市の避難所で小学生が中心になって作成した壁新聞がありました。名前は「ファイト新聞」（3面参照）。ファイト新聞は、次第に避難所の大人たちを元気づける存在に。2代目編集長として作成に携わった小山里子さんに、当時の思いと今の思いを寄せていただきました。



避難所生活を送った当時、小学3年生の小山さん

©大沼ショージ

プロフィール 宮城県気仙沼市出身。2011年3月11日東日本大震災発生当時は小学3年生。避難所生活を送る中で、子どもたちで作成した「ファイト新聞」の2代目編集長。現在は水産加工販売会社で事務員として働く

あの時、 「大人たちの笑顔を取り戻せるのは自分たちしかない」という強い使命感があった

突然、日常を奪った東日本大震災

それまで、当たり前にあった私たちの日常を突然奪ったあの東日本大震災から10年がたちました。

当時、小学3年生だった私は、もうすぐ社会人2年目を迎えます。あの日、小学校の教室で帰りの会をしている時、ひどい地鳴りが響き渡り、直後に立ってられないほど教室が大きく揺れ、机の下に隠れたのを覚えています。

私が通っていた小学校は高台にあったので、母と3つ上の姉とそのまま体育館で一晩過ごすことになりました。雪が降っていて、とても寒い日でしたが、電気も通っていないので、暖をとる手段はありませんでした。

震災の翌日、高台から自分の家の状況を見に行きました。その時私は変わり果てた町を見て、初めて事の重大さに気付かされました。父と祖父の安否も分からず、自分の家も無くなっていて、絶望的な気持ちでした。きっとあの時被災した方々は、みんな同じ気持ちだったと思います。

その日の夕方、父と祖父の無事が分かり、家族全員そろうことができましたが、同じところに避難していたかたの中には、まだ家族が見つからないかたや、家族を失ってしまったかたもいて、避難所全体がとても暗い雰囲気だったのを覚えています。

そんな時、同じ場所に避難していた当時小学1年生の吉田理紗ちゃんから「新聞を書こう」と誘われました。

その新聞の名前は「ファイト新聞」

最初は小学生4人で始まった、ただの暇つぶしのようなものですが、暗い顔をした大人たちを少しでも元気づけられたらという思いで始めました。第1号を書き終え、同じ部屋に避難していた人たちに回し読みをしてもらいました。すると、だんだんと大人たちの顔に笑みが戻っていくのが分かりました。

記事にしたのは「電気が復活したこと」や「炊き出しがおいしかったこと」などで、避難所生活でのちょっとした出来事などを書き出していました。

ルールは「暗い話は絶対に書かない」

小学生ながら「大人たちの笑顔を取り戻せるのは自分たちしかない」という強い使命感があったのだと思います。

新聞を毎日書き続け、そのたびに回し読みをもらいました。すると大人のかたから「毎日楽しみにしてるよ」「いつもありがとう」などと声を掛けられるようになりました。私は、自分たちの書いた新

聞で周りを元気づけられていることがとてもうれしかったです。

全国のかたから文房具やカメラなどの支援物資もいただき、本当にたくさんの人の支えがあって乗り越えられてきたと実感しています。

私は、家を流され、体育館での避難所生活、仮設住宅での生活、そして今は災害公営住宅に住んでいますが、その中でたくさんの人と出会い、普通の人生では経験できないこともたくさん経験してきました。

それは、あの震災がなければ絶対に経験できないもので、そもそもあの震災を経験したこと自体も、言い方は悪いかもしれませんが、奇跡のようなものです。

生きたくても生きられなかった人の分まで、強く

人間は無力です。どんなにあがいても自然の大災害は止められないし、勝てません。ただ憎むことしかできないのです。だから、経験した貴重な震災の記憶をずっと風化させないように、私たちが後世へつないでいかなければなりません。少なくとも、今私ができることはこれくらいしかありません。

絶対に起こってほしくはないけれど、いつかまた起こりうる震災に立ち向かえる強さ、たくましさ、みんなで支え合う力、そして生きていることへの感謝を持って、あの震災によって犠牲になられた方々の分まで、力強く生きていこうと思います。

最近、新型コロナウイルスの話題で持ち切りですが、1日も早い感染の終息を願うには、今こそ東日本大震災の経験を生かすときです。みんなで支え合い、協力し合って平穏な日常に戻ることを祈ります。

中島ゆきさんの「糸」という曲は、私がとても好きな曲です。人と人が支え合い、幸せに向かって手を取り合っていく大切さを教えてくれる曲で、震災の時に励ましの声を掛けてもらったり、支援物資を送ってもらったり、炊き出しをしてもらったりして感じた、支え合いの力と、人の温かみを思い出させてくれます。同時に、人は一人では生きてはいけないという人間の弱さも教えてくれる曲です。

だから、どんなことでもみんなで手を取り合い、強く生きていきたいと思います。

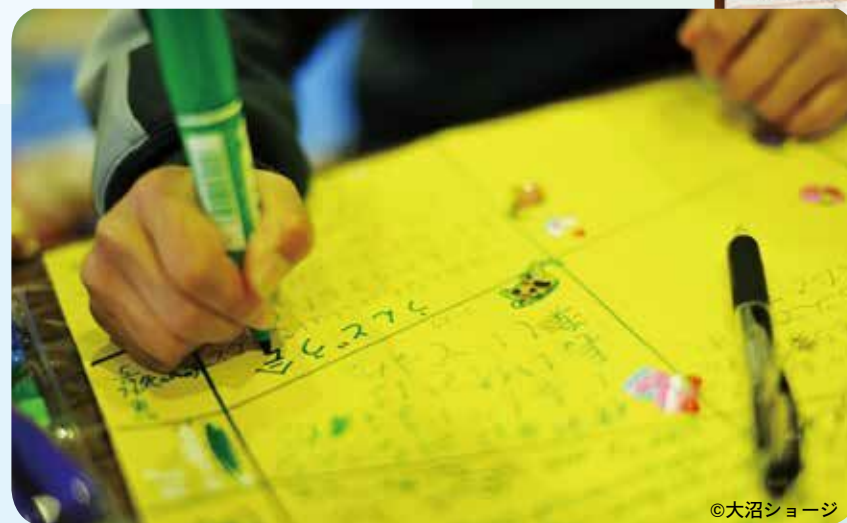
生きたくても生きられなかった人の分まで、強く。

ホームページ（右コード）で、特集の特設ページをご覧ください

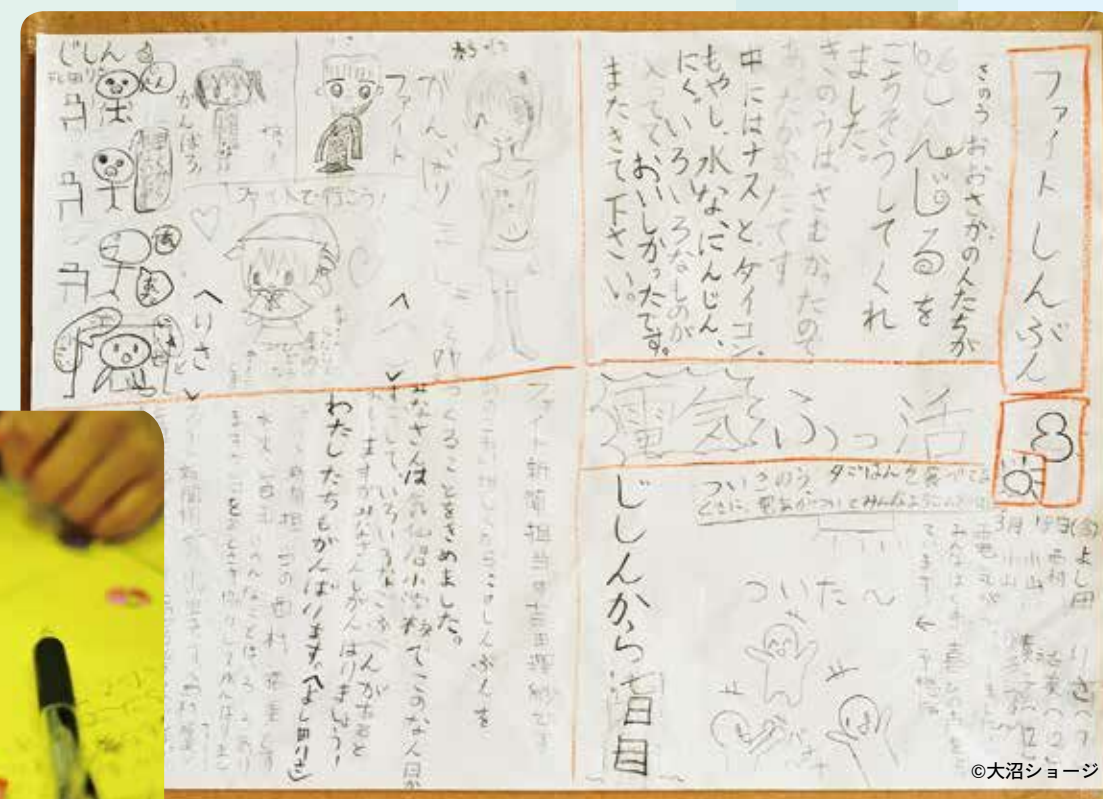
図広報課区報係（☎5722-9486、☎5722-8674）



宮城県気仙沼発！ファイト新聞（河出書房新社）ホームページ（右コード）では、ファイト新聞の写真がご覧になれます（内容をまとめた書籍は現在品切れ）



©大沼ショージ

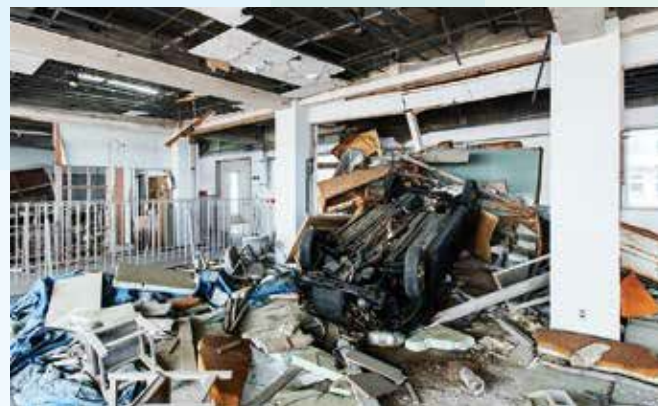


©大沼ショージ

◀子どもたちが手書きで一生懸命に書いたファイト新聞には、明るい話題が並ぶ（宮城県気仙沼発！ファイト新聞〈河出書房新社〉より）

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で知る震災

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館は、将来にわたり震災の記憶と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける「目に見える証」として、震災当日まで気仙沼向洋高校の校舎だった建物を活用し、2019年3月10日に開館しました。被災直後の姿をとどめた内部や映像などで震災の様子を伝えるほか、語り部ガイドや防災・減災体験プログラムなどを実施し、訪れた人の防災意識向上に寄与しています。



▲破壊された校舎。押し流された車も当時のまま保存されている



▲施設の詳細はこちらから

目黒区と気仙沼市のつながり



▲さんま祭では毎年たくさんの人が気仙沼市からのサンマを待ちに

平成8年の住民同士のイベント交流をきっかけに、目黒のさんま祭へのサンマの提供、災害時相互援助協定の締結、中学生の自然体験ツアーなど、継続的に交流を重ね、平成22年9月18日に友好都市となりました。東日本大震災の際は、区から気仙沼市へ職員派遣を行い、現在も3人の職員を派遣しています。

気仙沼市はこんなところ

宮城県の北東端に位置する気仙沼市。三陸復興国立公園の南部に当たり、リアス海岸特有の美しい景観をもつ港町です。サンマをはじめ、サメ（フカヒレ）やカツオ、マグロなど国内有数の水揚げ量を誇ります。



気仙沼市の今～鹿折地区



2011年

◀大津波の被害で、町には漁船が打ち上げられている（2011年6月撮影）



2021年

▶震災のがれきは取り除かれ、道路などが整備されている（2021年2月気仙沼市復興祈念公園から撮影）

気仙沼市への義援金を受け付けています

図地域振興課区民活動支援係

（☎5722-9871、☎5721-7807）

3年

3／19まで

区では、東日本大震災により被災した気仙沼市への義援金を受け付けています。義援金は、被災されたかたに配分され、生活支援に役立てられています。引き続きのご協力をお願いします。詳細はお問い合わせください。

受付窓口 総合庁舎本館1階西口総合案内所・地域振興課、地区サービス事務所（東部を除く）、住区センター、目黒駅行政サービス窓口、体育館、図書館ほか

〈口座振り込みもできます〉

銀行名 リソナ銀行中目黒支店

口座番号 普通1289677

口座名 目黒区気仙沼市被災募金

（メグロクセシママシヒサイボキン）

小学校に入学するお子さんへ
子ども医療証を
お送りします

子

が入った若草色の
医療証になります

子

医 療 証

負担者番号

8 8 1 3

園子育て支援課手当・医療係（☎5722－9864、FAX5722－9328）

4月に小学1年生になる子どもの医療証は、乳幼児医療証から、子ども医療証に変わります。使い方は乳幼児医療証と同じです。対象者に新しい子ども医療証を、3月末にお送りします。4月以降の受診の際は、必ず子ども医療証を提示してください。

学校などで起きたけがには、医療証は使えません

保育園や幼稚園、学校等の管理下で起きたけがなどは、原則、学校等が加入している災害共済給付制度の対象です。申請により、医療費の自己負担分に総医療費の1割相当額を上乗せした金額が支給されます（調剤、接骨院などを含む）。制度については、保育園・幼稚園・学校などのほか、保育課保育係（☎5722－9865、FAX5722－9659）、学校運営課保健給食・健康係（☎5722－9306、FAX5722－9333）にお問い合わせください。

2年度エコ・チャレンジ顕彰

環境保全課環境計画係（☎5722－9356、FAX5722－9401）

省エネ・ごみ減量・リサイクルなど、環境負荷の低減や環境保全のために顕著な取り組みを行う区民・事業者・団体等を顕彰しています。2年度は、次の2団体を顕彰しました。

顕彰者名

NPO法人365ブンノイチ

顕彰理由

地域住民や企業と連携して、アート作品を制作し、落書き防止対策につなげることで、区内の環境美化に大きく貢献している

1点ずつ手作りしている
「めぐるはんどめいどエコバッグ」

顕彰者名

NPO法人青松の会おおぞら

顕彰理由

オリジナルエコバッグの作製によるプラスチック削減を推進することで、使い捨て型ライフスタイルを見直すきっかけとなり、環境負荷の低減に大きく貢献している

情報
ボックス

ハガキ・FAX
の記入例

1講座名など

2郵便番号・住所

3氏名（ふりがな）

4電話・FAX番号

5年齢

6性別

往復ハガキには、返信用にも住所・氏名を書いてください

記事に特に記載がない場合は、
●重複申し込み不可
●費用は無料
●対象者は原則、
区内在住・在勤・在学者
●1人1枚1講習
（コース・行事）
申込先に所在地がない場合の宛て先
〒153-8573
目黒区役所（住所記入不要）
○○○○課（申込先の宛て名）

お花見自粛のお願い

目黒川沿いなど、人が大勢集まる場所でのお花見は控えてください。また、目黒川周辺でのイベント開催や屋台なども控えるようお願いします。

区長メッセージ

目黒川桜開花期間安全対策協議会事務局
（産業経済・消費生活課商店街振興係 ☎5722－9881、FAX5722－9169、
文化・交流課文化・観光係 ☎5722－9553、FAX5722－9378、
道路公園課補修調整係 ☎5722－9775、FAX3712－5129）

講演・講習

初心者着付け教室

日程 4／11～6／19の毎週日・月・水・金・土曜日の曜日別コース（全10回）時間 13：30～15：30
会場 シルバー人材センター着付け教室（下目黒2－20－19 下目黒住区センター内）対象 女性 定員 各3人（先着）費用 受講料20,000円
■ハガキ・FAX・Eメールに、記入例1～5と希望曜日を第2希望まで書いて、4／5（必着）までに、目黒区シルバー人材センター（〒153－0063目黒1－25－26 田道ふれあい館内、☎3793－0181、FAX3793－0588、✉megu18@sjc.ne.jp）へ

お知らせ

8／1から住区会議室の利用
時間と使用料を変更します

夜間の利用時間は、21：00までになります。詳細は、ホームページをご覧ください。
■東部地区サービス事務所地域コミュニティ支援係（☎5722－9752）

元年度版施設データ集を公開します

区有施設見直しの取り組みの一環として、施設の最新状況をまとめた。概要版と全体版（施設ごとの経費などの詳細を掲載）を公開します。総合庁舎本館1階区政情報コーナー・4階区有施設プロジェクト課、地区サービス事務所（東部を除く）、目黒駅行政サービス窓口、住区センター、図書館（区有施設プロジェクト課以外は概要版のみ）のほか、ホームページでご覧になれます。また、インターネットで自由に入手・利用・再配布できるオープンデータとしても公開します。
■区有施設プロジェクト課（☎5722－9876）

福祉タクシー利用券の交付

対象 次のいずれかに該当するかた（施設入所・入院中を除く）①身体障害者手帳（下肢・体幹・内部障害は1～3級、上肢・視覚障害は1・2級）、愛の手帳（1・2度）を所有②脳性まひ、進行性筋萎縮症③区指定の難病などで、4／1現在、有効な都発行の特定医療費（指定難病）受給者証を所有。いずれも所得制限あり 交付方法 過去に交付申

後期高齢者医療保険料仮徴収通知書を送付しました

特別徴収（年金からの引き落とし）のかたに、送付しました。普通徴収（納付書または口座振替での納付）のかたの保険料は、7月から納付となり、7月中旬に通知します。
■国保年金課後期高齢者医療係（☎5722－9838）

保健衛生

狂犬病予防注射のお知らせを送付しました

1／31現在、区に犬の登録をしているかたに送付しました。転居の際、飼い犬の変更届を提出していないかたなどには、通知が届かない場合があります。同封の申請書がない場合でも、会場で注射の接種と注射済票の交付を受けることができ、犬

人材を募集します

●違反広告物指導員（会計年度任用職員）

勤務期間 5／1～4年3／31 勤務時間 月・火・木・金曜日8：30～17：15 勤務場所 総合庁舎本館6階土木管理課 勤務内容 違反広告物の除却に係る手続き事務ほか。パソコン操作あり 報酬 月額189,120円（手当あり） 募集人数 1人 選考方法 書類・作文選考後、面接
■履歴書と作文（志望動機。800字程度）を、3／26（必着）までに、土木管理課土木監察係（☎5722－9426、FAX5722－9636）へ郵送または持参。詳細は募集要項（申込先で配布）、またはホームページをご覧ください

目黒区保健所		+休日・土曜日・平日夜間などの診療・調剤案内 ※事前連絡が必要です			
生活衛生課（総合庁舎本館3階） ☎5722－9505：犬の登録ほか ☎5722－9500：ねずみ、衛生害虫相談ほか ☎5722－9506：食品衛生ほか ☎5722－6852：区内診療所の相談・苦情ほか	保健予防課（総合庁舎本館3階） ☎5722－9396：肝炎検査、成人健康相談ほか ☎5722－9896：HIV・性感染症相談・検査ほか ☎5722－9503：予防接種、母子・歯科保健ほか	小児科・小児科 鷹番休日診療所（土）17:00～21:30（休）9:00～11:30、13:00～21:30 鷹番2-6-10 目黒区医師会館別館内 ☎3716－5311 中目黒休日診療所（休）9:00～11:30、13:00～16:30 上目黒2-19-15 総合庁舎別館内 ☎5721－6110 平日夜間小児初期救急診療 祝・休日を除く（月）～（金）20:00～22:45 大橋2-22-36 東邦大学医療センター大橋病院内 ☎3468－1251	歯科 診療時間は9:00～11:30、13:00～16:30 3月20日（祝）浜中デンタルクリニック 鷹番3-8-5-2F ☎3792－3300 3月21日（日）碑文谷コート歯科 目黒本町4-20-10 ☎3760－2831		
		調剤 鷹番薬局（土）17:00～22:00（休）9:00～22:00 鷹番1-7-11 クレール鷹番101 ☎3792－6260 中目黒薬局（休）9:00～17:00 上目黒2-19-15 総合庁舎別館内 ☎3792－6190			
碑文谷保健センター（碑文谷4-16-18） ☎3711－6446：成人健康相談、母子・歯科保健、予防接種、検便ほか		東京都発熱相談センター ☎5320－4592（無休。24時間）。電話での相談が難しい場合は☎5388－1396			
新型コロナウイルス感染症 ワクチンについての問い合わせ		目黒区新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0570－058－050、FAX5722－7048（月～土曜日8：30～17：00。祝・休日を除く）			

VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい植物油インキを使用しています

100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用